

最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成 22・23 年度進捗管理結果について

平成 24 年 10 月
独立行政法人日本学術振興会
最先端・次世代研究開発支援プログラム
進捗管理委員会

最先端・次世代研究開発支援プログラムは、平成 21 年度補正予算に基づき創設された基金を財源とし、将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者による政策的・社会的意義が特に高い先端的研究開発を支援することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的としている。

平成 24 年度、総合科学技術会議が決定した運用基本方針に基づき、独立行政法人日本学術振興会に最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理委員会（委員 23 名で構成）を設置し、必要に応じて同委員会の委員以外の有識者 43 名の協力を得ながら、本プログラムの補助事業者がグリーン・イノベーション又はライフ・イノベーションの推進を目指し行っている各研究課題の研究目的の達成に資するため、研究開発の進捗管理を実施した。

具体的には、平成 22 年度に採択された研究者・研究課題のうち補助事業を廃止した 2 件を除く 327 の研究者・研究課題を対象に、実施状況報告書等の内容精査のほか、必要に応じて不明点等の書面による事情聴取、あるいは現地調査による質疑応答及び研究現場の視察等を行うことにより、平成 22 年度及び 23 年度の研究開発の進捗状況を確認した。

その結果、「当初の計画以上に進展している」研究課題は 39 件で全体の 12%、「当初の計画どおり順調に進展している」のは 229 件・70%、「当初の計画に対して遅れており今後一層の努力が必要である」のは 58 件・18%であった。全研究課題のうち、研究の実施において重要な論文が発表されたなどの特筆すべき点が見られた研究課題は 100 件・31%あり、その例として 6 件を別紙 3 に挙げている。

また、「今後一層の努力が必要である」とされた研究課題のうち、主に東日本大震災やタイにおける洪水の直接的あるいは間接的な影響による遅れと認められる研究課題は 22 件であった。遅れのその他の主な理由としては、他の研究機関への異動等や特別研究員等の採用の遅れ、研究装置の導入の遅れなど研究体制に係るもの 6 件が挙げられるほか、残りの研究課題 30 件についても、一部研究が進んでいる部分等もあるが、総合的にみると一層の努力が必要であるものと判断した。

本結果は、9 月 18 日に開催した本委員会においてとりまとめ、総合科学技術会議最先端研究開発支援推進会議に対し報告し、その結果を各補助事業者に通知するとともに公表するものである。

各補助事業者には、本結果及び所見（知的財産権の保護等の理由から補助事業者にのみ開示している所見を含む。）を踏まえ、引き続きそれぞれの研究目的の達成に向け最大限の努力を重ねることを期待する。

なお、三原誠・東京大学医学部附属病院助教の課題「医工連携による磁場下過冷却（細胞）臓器凍結保存技術開発と臨床応用を目指した国際共同研究」（LS039）については、当該課題に参画していた森口尚史・同特任研究員の研究活動に疑義が生じていることから、本課題の進捗状況を改めて確認したうえで別途公表することとする。

別紙

- 1 最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成 22・23 年度進捗管理結果一覧
- 2 最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成 22・23 年度進捗管理結果一覧（研究課題別）
- 3 最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成 22・23 年度に特筆すべき点が見られた研究課題の例
- 4 最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成 22・23 年度進捗管理スケジュール
- 5 最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理委員会委員及び有識者名簿
- 6 最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理要領
- 7 最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗状況ヒアリング及び現地調査実施要領

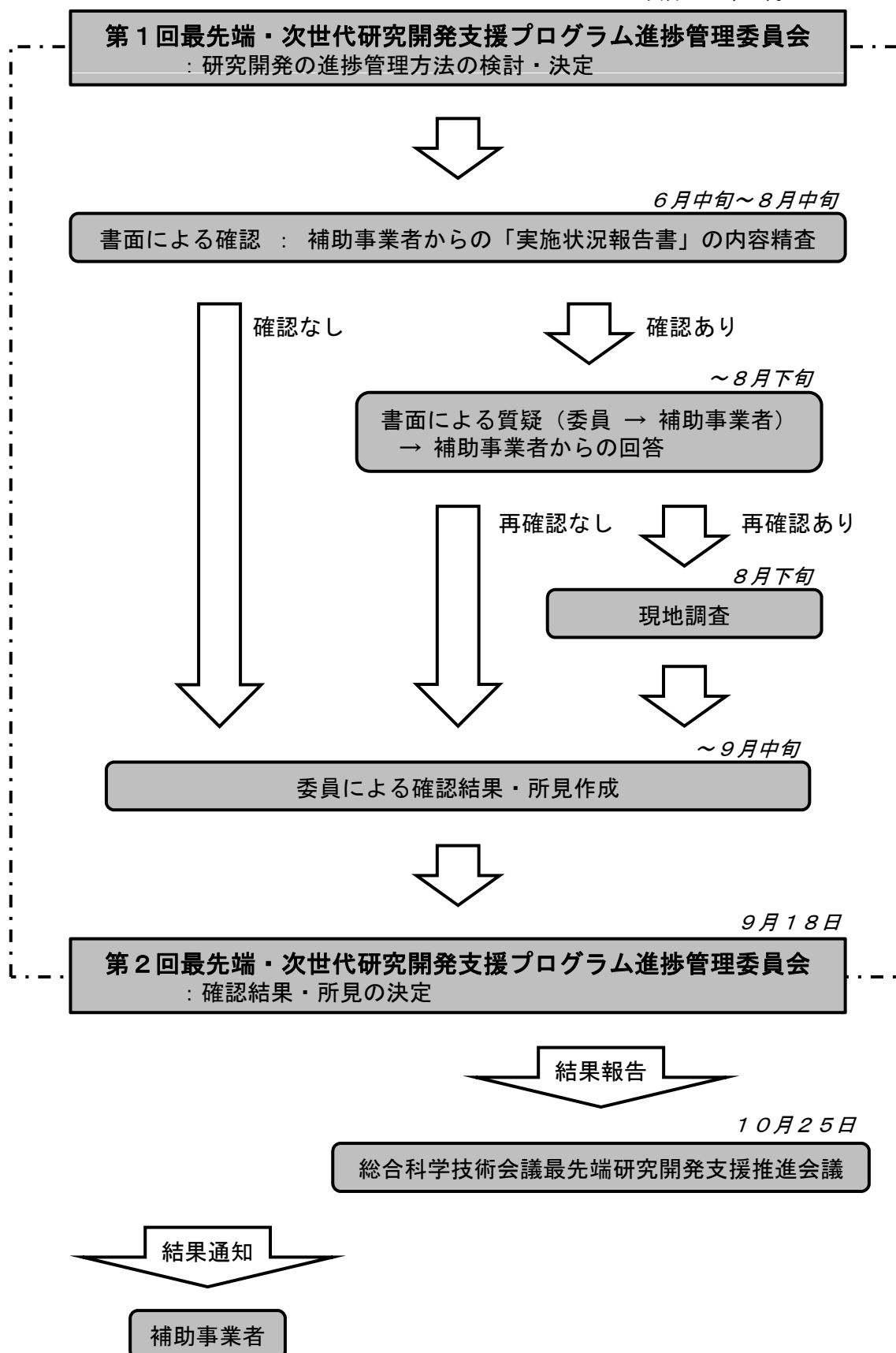
最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成22・23年度進捗管理結果一覧

	当初の計画以上に 進展している	当初の計画どおり 順調に進展している	当初の計画に対して 遅れており 今後一層の努力が 必要である	うち、東日本大震災 等の影響で遅れが 認められる研究課 題
グリーン・イノベーション				
理工系	19	62	22	8
生物系	1	17	13	5
人文社会系	0	3	3	2
ライフ・イノベーション				
理工系	3	33	3	0
生物・医学系※	15	108	14	5
人文社会系	1	6	3	2
総 計	39	229	58	22
割 合 (小数点以下は四捨五入)	12%	70%	18%	38%

※研究課題LS039については確認中

最先端・次世代研究開発支援プログラム 平成22・23年度進捗管理スケジュール

平成24年5月10日



最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理委員会委員名簿

(平成 24 年 5 月 10 日現在)

阿知波洋次	首都大学東京名誉教授
跡見裕	杏林大学長
有富正憲	東京工業大学原子炉工学研究所長
石井溥	東京外国語大学名誉教授
井上昭	岡山大学名誉教授
岡田光正	放送大学教授
小池勲夫	琉球大学監事
小原雄治	情報・システム研究機構理事、国立遺伝学研究所長
木南凌	新潟大学名誉教授、新潟大学大学院医歯学総合研究科客員研究員
◎ 小宮山宏	三菱総合研究所理事長
杉山弘	京都大学大学院理学研究科教授
高橋研	東北大学未来科学技術共同研究センター教授
塚本修巳	横浜国立大学名誉教授、上智大学客員教授
津本忠治	独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター副センター長
永田和宏	京都産業大学総合生命科学部長
○ 鍋島陽一	公益財団法人先端医療振興財団先端医療センター長
西村淳	群馬大学名誉教授
林上	中部大学国際人間学研究科長
堀正二	大阪府立病院機構大阪府立成人病センター総長
松田彰	北海道大学大学院薬学研究院教授
宮園浩平	東京大学大学院医学系研究科教授
矢野雅文	東北大学名誉教授
山口五十磨	東京大学名誉教授

◎は委員長を示す

○は副委員長を示す

(計 23 名)

最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理委員会有識者名簿

(平成 24 年 9 月 18 日現在)

天笠 光雄	東京医科歯科大学名誉教授
有坂 文雄	東京工業大学大学院生命理工学研究科教授
伊佐 正	大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所教授
岩本 正和	東京工業大学フロンティア研究機構教授
内田 憲孝	株式会社日立ハイテクノロジーズ研究開発本部第四部部長
内山 洋司	筑波大学システム情報系教授
海老塚 豊	国立医薬品食品衛生研究所生薬部客員研究員
大津 元一	東京大学大学院工学系研究科教授
岡村 康司	大阪大学大学院医学系研究科教授
小幡 邦彦	大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所名誉教授
加賀爪 優	京都大学大学院農学研究科教授
川井 秀一	京都大学生存圏研究所教授
河野 憲二	京都大学大学院医学研究科教授
倉知 正佳	富山大学理事（政策・財務担当）・副学長
小泉 昭夫	京都大学大学院医学研究科教授
坂田 公夫	SKY エアロスペース研究所長
佐藤 英明	東北大学大学院農学研究科教授
塩谷 捨明	崇城大学副学長（研究担当）
菅野 純夫	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
鈴木 寛治	東京工業大学大学院理工学研究科教授
高尾 正敏	大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室シニア・リサーチ・アドミニストレーター・特任教授
田邊 進	公益財団法人テルモ科学技術振興財団理事
谷口 寿章	徳島大学疾患酵素学研究センター教授
田上 英一郎	名古屋大学大学院環境学研究科特任教授
民谷 栄一	大阪大学大学院工学研究科教授
中條 善樹	京都大学大学院工学研究科教授
徳下 善孝	電源開発株式会社技術開発部研究推進室シニアエキスパート
利島 保	広島大学医歯薬保健学研究院（医）特任教授、広島大学名誉教授
中村 春木	大阪大学蛋白質研究所教授
西 義介	長浜バイオ大学バイオサイエンス学部教授
西村 幹夫	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所教授
野田 博明	独立行政法人農業生物資源研究所昆虫科学研究領域ユニット長
長谷川 昭	東北大学名誉教授
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授
町田 泰則	独立行政法人農業生物資源研究所昆虫科学研究領域特任上級研究員
松本 健郎	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
矢富 裕	東京大学大学院医学系研究科教授
山田 和芳	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所所長
山田 好秋	新潟大学理事（財務担当）・副学長
山本 義春	東京大学大学院教育学研究科教授
山森 哲雄	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所脳生物学研究部門教授
吉田 博	大阪大学大学院基礎工学研究科教授
渡辺 正	東京理科大学総合教育機構理数教育研究センター教授

(計 43 名)